
異世界へおくられた俺

チョコチップ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

異世界へおくられた俺

【Nコード】

N3094N

【作者名】

チヨコチップ

【あらすじ】

あることがきっかけで突然、異世界におくられた玲人。チートな力を手に入れた玲人が冒険に出る。

目の前の少女（前書き）

初投稿です。ぐぐたくだかもしれませんがよろしく願います。

目の前の少女

「君、だれ？」

俺の目の前にはちっちゃな女の子が立っている。

「私は神だよ。」

「…君、ちょっと病院行つたほうがいいんじゃない？」

「し、失礼な！私は正常だ！」

「正常ならなんで俺の家にいる？明らかな不法侵入だろ。」

「だから私は神だつて言つてるでしょ！！！」

「『かみ』つて名前なんだね。じゃあお家の人に迎えに来てもらうから電話番号を教えて。」

「だーから！私は『神』だつて！それと子ども扱いするな！！！」

「…じゃあ証明してよ。」

「いいわよ！じゃあ、あなたを異世界におくつてあげる！」

「あのさ…見栄張らなくても…」

「見栄なんて張つてない！！私をバカにしたことを後悔しなさい！！！」

すると、女の子（自称、神）は俺に掌を向けて何かを呟きだした。

すると、俺の中心にゲームで出てくるような魔法陣（？）が出現し…

「ってちよつと待て！まさかホントに…」

「ふふふ。自分の失態を向こうの世界で後悔しなさい！」

すると突然、穴が開き

…穴？

「うわああああー！！！」

俺は落ちていった。上を向くと神がアッカンベーしている。

「覚えてろー！！！」

俺は悪役の台詞を叫びながら奥深くへと吸い込まれるように消えていった。

目の前の少女（後書き）

誤字・脱字、感想などがあれば遠慮なくコメントしてください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3094n/>

異世界へおくられた俺

2010年10月22日00時58分発行